



- 道路管理者が抱えるインフラの維持管理に関する課題解決及び、インフラメンテナンス技術の普及拡大に向け、東北地方整備局 東北技術事務所とインフラメンテナンス国民会議東北フォーラムが連携し、9種類のシーズの比較施工をおこなう、「境界ブロック目地部等の防草技術」の実証実験を開催。
- 当日は行政会員、関係者合わせて約80名が参加。
- 結果については、今後、継続的に展示紹介・効果検証し、その情報を発信予定。

★★プログラム★★

1.開会挨拶

東北フォーラムリーダー 石川雅美

2.フィールド提供者 挨拶

東北技術事務所長 高橋 秀典

3.シーズ技術の概要説明・施工実演

- ①小泉製麻(株)「目地パール工法」
- ②(株)白崎コーポレーション「目地バリシートシリーズ」
- ③谷口産業(株)「目地プロテクトシート」
- ④ウィードコート工法協会「ウィードコート工法」
- ⑤シンレキ工業(株)「ポーソーシールシリーズ」
- ⑥早川ゴム(株)「草ゼロプレート」
- ⑦全国防草ブロック工業会「防草ブロック」
- ⑧日本雑草防止工法研究会「雑草防止工法」
- ⑨松岡コンクリート工業(株)「防草機能付きCo2次製品」

4.閉会挨拶

東北フォーラム 企画委員長 遠藤敏雄

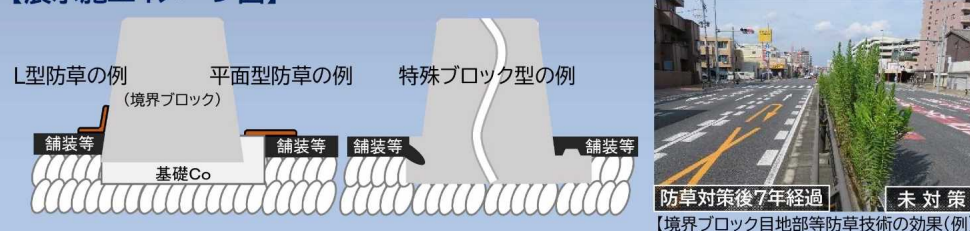
○参加自治体

- ・青森県 八戸市
- ・宮城県 富谷市
- ・宮城県 七ヶ浜町
- ・宮城県 涌谷町
- ・山形県 酒田市
- ・福島県 郡山市
- ・福島県 白河市

○実証実験参加者からの感想

- ・資料で見たことはあったが、実際に見てみることで製品それぞれの特徴をよく理解することができた。
- ・除草技術の解説や施工実演を見学でき、今後の維持管理業務の参考となった。

【展示施工イメージ図】



○境界ブロックに生える雑草の状況



○防草技術の施工の様子



○東北技術事務所 高橋所長 挨拶



○施工実演の様子